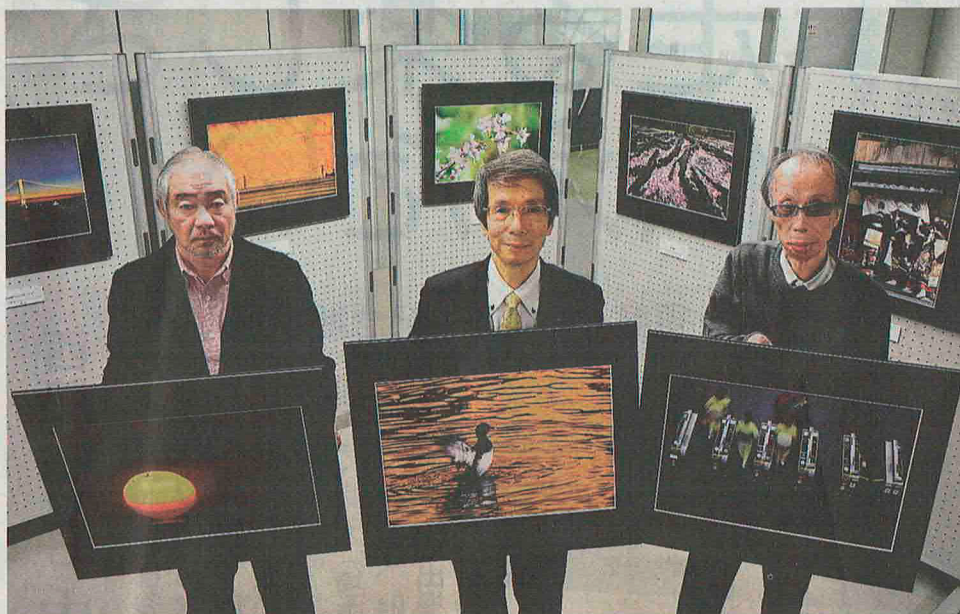


日常にきらり 兵庫の美

明石海峡の夕日、植物園のクモの巣……

兵庫県内を中心に近畿地方の風景や祭りなどを撮った写真展「世界に見て欲しい兵庫県」が、神戸市中央区のひょうご国際プラザで開かれている。明石海峡で見える「だるま夕日」や植物園での珍しい光景などを切り取った40点が並ぶ。19日まで。
(坂山真里緒)



自信作を出品した松井秀雄さん(中央)ら松井塾のメンバー
＝神戸市中央区協浜海岸通1

神戸で外国人向け写真展

県国際交流協会主催。日本IBMのOBでつくる写真愛好家グループ「松井塾」のメンバー13人が出品した。兵庫の魅力を外国人に伝えるとともに、県民にも郷土の珍しい情景を感じてもらうのが目的で、開催は2012年以来2度目となる。

会場には、見慣れた明石海峡大橋を捉えた写真でも、気象や時間の好条件が重なった作品が多い。夕方、太陽が海に沈む時に底の部分がゆがんで見える「だるま夕日」を写り込ませたり、鳥の群が飛び立つ瞬間を収めたりしている。

王子動物園(神戸市灘区)のアシカのプールに浮かぶ落ち葉と桜の花びらのみを切り取った写真▽雨の日の森林植物園(同市北区)内で、水滴が宝石のように輝くクモの巣を写した作品など珍しい情景に焦点を当てたものもある。

同塾代表の松井秀雄さん(66)は「一つの場所にも気象条件などによってさまざまな変化があることを楽しんでほしい」と話している。

無料。平日午前10時半～午後6時半。県国際交流協会807
8・230・3267